

福島第一原子力発電所

5・6号機サプレッションプール水サージタンク水の移送について

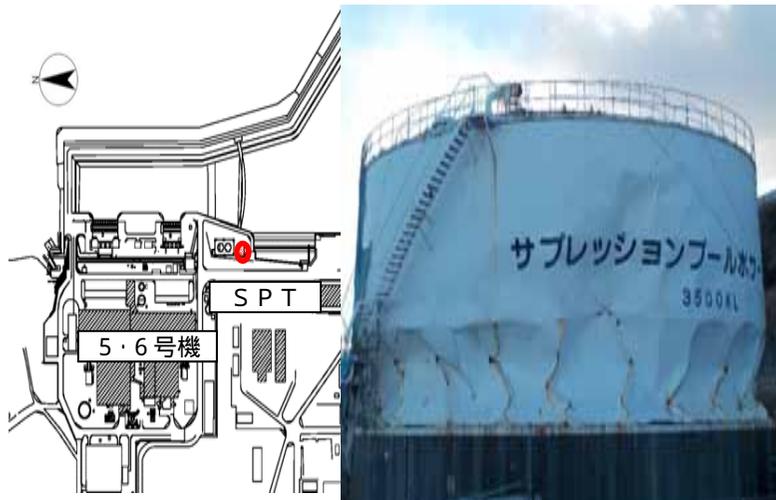
< 参 考 資 料 >
2019年4月25日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

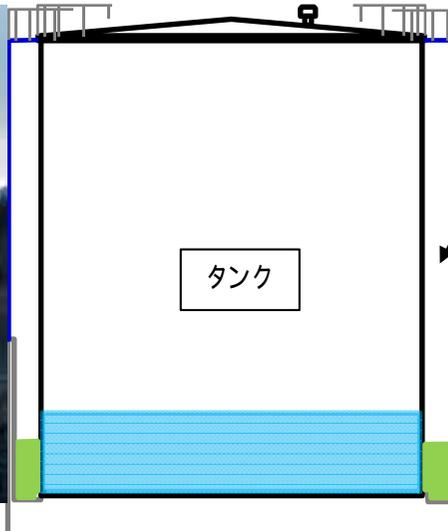
- 5/6号機のサプレッションプール水サージタンク(以下、「SPT」)には、震災前のプラント保有水※が貯留されています。
- SPTは2重構造で、現在、タンク内部にプラント保有水に海水が流入した水約500m³、2重構造の間隙となる雨仕舞内部に海水・雨水が流入した水約200m³、タンク横に附属されているポンプ室に海水・雨水が流入した水約60m³が貯留されています。
- 当該SPTの健全性は確認しておりますが、早期のリスク低減を目的に、今年7月から当該プラント保有水を1～4号機プロセス主建屋へ移送し、1～4号機建屋滞留水と合わせて処理を行います。タンク車で1日あたり約25～30m³を移送する計画で、秋頃を目途に移送完了を予定しています。

プラント保有水:震災前に運転中だった原子炉・タービン建屋内等で使用した水を一旦処理し、同建屋内等で使用する補給水として再利用するための水であり、震災以降に炉注水等で発生している高濃度の建屋滞留水等とは異なります。

【SPT位置図】



【SPT概略図】



【移送方法】

